

● 地域提案型

平成23年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	モロッコ
2. 事業名	持続可能な都市整備に向けた再生可能エネルギー活用能力向上事業
3. 事業の背景と必要性	<p>モロッコ政府は、2008年7月、近代化に資する「エネルギー戦略（2020-2030）」及び「国家行動計画」を発表。「エネルギー戦略」では、電力の安定供給、環境配慮、石油消費の低減、省エネの啓蒙促進、代替エネルギー源の開発（豊富に存在する太陽光・風力の利用拡大等）を含む事項が目標として挙げられている。</p> <p>ウジユダ・アンガッド府においては、産業や農業の近代化により、エネルギー需要が大幅に増加する見通しのなか、同府におけるエネルギー政策の実施にあたっては、環境保全及び農村部への電力安定供給への配慮が求められている。</p> <p>このため、太陽光をはじめ、風力、水力、バイオマスなど、多様な再生可能エネルギーの各メリットを最大限活用できる先端技術や有効な政策事例を理解した上で、同府の事情に適した独自の政策を立案できる能力が必要とされている。</p> <p>しかし現状では、同府職員の再生可能エネルギーに関する知識及び意識のレベルは高いとはいえず、同府の関連政策やビジョンを描くための情報や経験が不足している。</p>
4. プロジェクト目標	ウジユダ・アンガッド府の地域事情に適合した再生可能エネルギー導入促進施策の方向性を見出すこと。
5. 対象地域	ウジユダ・アンガッド府
6. 受益者層（人数規模）	ウジユダ・アンガッド府全域（約50万人）
7. 活動及び期待されるアウトプット	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> ウジユダ・アンガッド府の担当者が「岐阜県次世代エネルギービジョン」及び同ビジョンに基づいた政策や先端技術を理解する。 同府において、1.で理解したことを地域事情に鑑みながら応用できる能力を習得する。 同府において、再生可能エネルギーを活用した政策の立案準備が進む。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1-1 ウジユダ・アンガッド府の担当者に対して、再生可能エネルギーに関する岐阜県の政策、先端技術等について講義及び実地で研修を実施する。（研修員受入） 2-1 1-1で吸収した知識及び技術をもとに、研修修了者がウジユダ・アンガッド府で報告を行い現地への応用方法について会議等で検討する。 2-2 2-1で検討した事項について、ウジユダ・アンガッド府及び岐阜県の担当者が意見交換する。 3-1 県の担当者がモロッコを訪問し、研修内容が現場に反映されているかを確認する。また現地でも多くの職員に再生可能エネルギーに関する理解を深めてもらうため講習会や意見交換会等を行う。（業務従事者の派遣） 3-2 ウジユダ・アンガッド府において、再生可能エネルギー活用に関する政策研究が進められ、部局横断的な協議が行われる。
8. 実施期間	2012年10月から2015年3月
9. 事業費概算額	10,771千円
10. 事業の実施体制	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜県商工政策課（事業実施） 岐阜県国際課（連絡調整）
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	岐阜県総合企画部国際課
2. 対象国との関係、協力実績	岐阜県とウジユダ・アンガッド府は、2007年8月27日に、「岐阜県とウジユダ・アンガッド府の友好交流に関する覚書」に署名。